

<IPA 情報発信第 136 号の内容>

I. 今月のトピックス

1. 宮沢洋一経済産業大臣が IPA を来訪

昨今のサイバーセキュリティを巡る状況からその役割の重要性がますます高まる当機構セキュリティセンターを視察のため来訪されました。

2. IoT 社会を見据えた国内初の業界横断的なソフトウェア開発指針の策定に着手

自動車・HEMS などの製品がインターネットや製品同士で相互に接続する「IoT 社会」を見据え、“つながる”製品に組み込まれたソフトウェアの信頼性を確保するためのソフトウェア開発指針の策定に着手し、8月5日(水)に検討会を発足しました。

3. 「セキュリティ・キャンプ全国大会 2015」を開催

情報セキュリティに関する高度な教育を通して、技術レベルの向上だけでなく、モラル面、セキュリティ面での意識向上を図り、将来 IT 産業の担い手となり得る優れた人材を発掘、育成することを目的に、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同主催で「セキュリティ・キャンプ全国大会 2015」を8月11日(火)から15日(土)まで、クロスウェーブ幕張(千葉県千葉市)で開催しました。また、各地(新潟、福岡など)で地方大会を実施しています。

II. セキュリティセンター

1. 9月の呼びかけ「iPhone 人気に便乗していると考えられる手口にご注意を」を公開
2. 標的型サイバー攻撃への「サイバーレスキュー隊：J-CRAT」の活動報告
3. 重要なセキュリティ情報(8月)

III. ソフトウェア高信頼化センター (SEC)

1. SEC セミナー開催報告(8月)および開催案内(9月)

IV. IT 人材育成

1. 「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2015」を共催

I. 今月のトピックス

1. 宮沢洋一経済産業大臣が IPA を来訪

(担当理事：田中、担当部長：中村)

宮沢洋一経済産業大臣が、8月18日（火）に IPA を訪問しました。

昨今のサイバーセキュリティを巡る状況からその役割の重要性がますます高まる当機構セキュリティセンターを視察のため来訪されました。

今回のご来講では、サイバー攻撃へ対処するための取組みであるJ-CSIP¹、J-CRATの活動内容や、「スマホののっとり」のデモをご覧頂く等、情報セキュリティの重要性をご説明しました。

「宮沢洋一経済産業大臣が IPA を来訪」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/news/20150819.html>

2. IoT 社会を見据えた国内初の業界横断的なソフトウェア開発指針の策定に着手 ～ 自動車・HEMS・家電などの製品が相互に“つながる”場合のリスク分析・対策を まとめたソフトウェア開発指針策定のための検討会を発足 ～

(担当理事（本部長）：立石、担当所長：松本)

IPAは、自動車・HEMS²などの製品がインターネットや製品同士で相互に接続する「IoT³社会」を見据え、“つながる”製品に組み込まれたソフトウェアの信頼性を確保するためのソフトウェア開発指針の策定に着手し、8月5日（水）に検討会を発足しました。

本検討会は、自動車、住宅、家電、ロボットなどの産業界をはじめ、組込み技術を専門とする大学教授など複数の有識者で構成され、業界横断的に IoT 製品に組み込まれるソフトウェアが満たすべき信頼性や安全性、セキュリティの要件を明確化していくことを目的に、2016年3月末までに開発指針の素案を取りまとめ、公開することを目指します。

IPA は本取組みを通じて、様々な業界・製品分野において、高い信頼性が確保された製品の開発が進み、利用者である国民一人一人が安心して暮らすことができる IoT 社会の安全・安心の実現につながることを期待しています。

本プレス発表の詳細については、次の URL をご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/about/press/20150805_2.html

¹ J-CSIP: Initiative for Cyber Security Information Sharing Partnership of Japan

² HEMS(Home Energy Management System) : スマートメーター等との接続により、家庭の消費電力を管理・制御するシステム。スマート家電と呼ばれるような家電機器の遠隔制御などを可能とする。

³ IoT(Internet of Things) : 様々なモノがインターネットに接続し、情報をやり取りすること

3. 「セキュリティ・キャンプ全国大会 2015」を開催

(担当理事(本部長): 田中、担当センター長: 片岡)

IPA は、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・キャンプ全国大会 2015」を 8 月 11 日(火)から 15 日(土)まで、クロスウェーブ幕張(千葉県千葉市)で開催しました。

本事業は、IT に対する意識の高い若者を対象とした情報セキュリティに関する高度な教育を通して、技術レベルの向上だけではなく、モラル面、セキュリティ面での意識向上を図り、将来 IT 産業の担い手となり得る優れた人材を発掘、育成することが目的です。

本年は 228 名の応募者の中から、書類選考で選ばれた中学生から大学生までの合計 50 名が参加しました。本年度は講義を 4 分野別のトラック制で構成し、各分野の第一線で活躍する講師陣 45 名が情報セキュリティと多様なテーマを掛け合わせた 38 種の講義を用意しました。受講者は自身の興味に合わせて分野横断的に多様な講義を選択し、益々複雑化・多様化する情報セキュリティ技術の実践的な指導を受けました。

キャンプでは、座学よりも実習に重きを置いており、参加者も実際に手を動かして情報セキュリティ技術を学びました。課題発見と解決策を提案するグループワーク、セキュリティ技術を競う「CTF⁴」など、充実したカリキュラムで 5 日間のキャンプを終えました。

参加者がキャンプで学んだ技術と交流を活かし、将来の情報セキュリティ最前線で活躍してくれることを期待します。

「セキュリティ・キャンプ全国大会 2015」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2015/zenkoku2015.html>

II. セキュリティセンター

1. 9 月の呼びかけ「iPhone 人気に便乗していると考えられる手口にご注意を」を公開

(担当理事(本部長): 立石、担当センター長: 頓宮)

IPA は、情報セキュリティに関する 9 月の呼びかけを 9 月 1 日(火)に公開しました。呼びかけ内容は、以下のとおりです。

「iPhone 人気に便乗していると考えられる手口にご注意を」

2015 年 6 月以降、「ウェブサイトの閲覧中に iPhone がもらえるというメッセージが表示された」といった相談が寄せられるようになりました。他にも「iPhone がウイルスに感染したという警告が表示された」といった、iPhone 利用者からの相談が寄せられています。

⁴ CTF(Capture the Flag): 情報セキュリティ分野で技術を競う手法。攻防戦形式、クイズ形式などがある。

いずれもクレジットカード情報の入力やアプリのインストールを促すための偽のメッセージ、偽の警告であると考えられます。入力したクレジットカード情報が悪用される等の懸念がありますので、基本的にはメッセージの内容を鵜呑みにせず、すぐに表示されているウェブサイト（ブラウザのタブ）を閉じることが賢明です。

今月の呼びかけでは、最近寄せられている iPhone 人気に便乗していると考えられる手口について、実際の相談を元に事例とその対策を紹介します。

2015 年 9 月の呼びかけの詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/txt/2015/09outline.html>

2. 標的型サイバー攻撃への「サイバーレスキュー隊：J-CRAT」の活動報告

～発足から 1 年間の相談件数は 168 件、そのうちレスキュー支援を実施したのは 66 件～

(担当理事（本部長）：立石、担当センター長：頓宮)

IPAは、2014 年 7 月 16 日に立ち上げた「サイバーレスキュー隊：J-CRAT⁵」の 1 年間の活動について報告書を 8 月 5 日（水）に公表しました。

2014 年 7 月に発足した「サイバーレスキュー隊：J-CRAT」は、1 年間の活動を経て「標的型サイバー攻撃特別相談窓口」等を通じて 168 件の相談を受け、緊急を要する 66 件に対して被害状況の調査や分析等の支援を実施し、その内早急な対応が必要と判断した 25 件には隊員を派遣し、オンサイトでの支援を実施しました。さらに、攻撃の連鎖が確認できた事案に関しては、その連鎖先への通知と対応の提言、支援も行いました。

「サイバーレスキュー隊：J-CRAT」の活動報告の詳細については、次の URL をご覧ください。

https://www.ipa.go.jp/about/press/20150805_1.html

3. 重要なセキュリティ情報（8 月）

(担当理事（本部長）：立石、担当センター長：頓宮)

IPAでは、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報⁶」として公開しています。

⁵ J-CRAT: Cyber Rescue and Advice Team against targeted attack of Japan

⁶ 「重要なセキュリティ情報」は、次の基準で対策の緊急度を表しています。

「緊急」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報でかつ、当該問題を悪用した攻撃が実際に行われているケース。

「注意」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報又は、当該問題を悪用した攻撃が行われる可能性があるケース。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、IPA 情報発信では 2013 年 12 月より広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身の PC やシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

8 月は、「緊急」2 件、「注意」1 件を公開しました。

重要なセキュリティ情報の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

Ⅲ. ソフトウェア高信頼化センター (SEC)

1. SEC セミナー開催報告 (8 月) および開催案内 (9 月)

(担当理事 (本部長) : 立石、担当所長 : 松本)

IPA は、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向などを紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

8 月は、次の日程で実施しました。

・ 上流工程での合意形成を目指して

～非機能要件と外部設計の合意形成のための手法とコツ～

(8 月 5 日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150805.html>

・ 定量データに基づく開発マネジメントで IoT 時代の信頼性・生産性向上を目指せ!

～「ソフトウェア開発データ白書」と「組込みソフトウェア開発データ白書」から垣間見える信頼性の実態～

(8 月 7 日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150807.html>

・ IT プロジェクトの見える化と定量的管理の理論から実践まで

～見える化の概念、チケット&計測、可視化手法、ツール活用～

(8 月 21 日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150821.html>

・ 共通フレーム解説とプロセス改善推進セミナー

～ソフトウェア開発プロセスにおける組織の課題を見つけて改善するために～

(8 月 26 日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150826.html>

・ 価値の多様化時代に要求される品質とは?

～一歩先を行く品質の視点、SQuaRE の活用～

(8 月 28 日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150828.html>

9月は、次の日程で開催を予定しています。

・SEC 高信頼化技術セミナー

モデルベースシステムズエンジニアリング入門
～システムを考えるハンズオンワークショップ～
(9月4日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150904.html>

・ESCR リーダーズ&トレーナーズセミナー

組込みソフトウェア開発向けコーディング作法ガイド [C言語版] (ESCR) のリーダーおよび品質向上推進者向けセミナー
～ソフトウェア製品の品質の安定・向上を達成するために～
(9月4日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150904-02.html>

・プロセス改善推進者育成セミナー

～プロセス改善概説と改善ツール体験～
(9月9日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150909.html>

・2015年度 第2回 ASIF 応用技術セミナー

～組込みシステム障害未然防止のための体験型ワークショップセミナー～
(9月10日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150910.html>

・事例から学ぶ IT サービスの高信頼化へのアプローチ

～障害事例の分析から導かれた情報処理システム高信頼化教訓集～
(9月11日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150911.html>

・SEC 高信頼化技術セミナー

上流工程における問題を解決するために
～ソフトウェアエンジニアリングに基づく形式手法入門～
(9月12日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150912.html>

・大規模複雑化した組込みソフトウェアへのモデルベース活用

～IPA/JEITA 共催セミナー～
(9月17日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150917.html>

・SPEAK-IPA 準アセッサ育成セミナー (Basic)

～プロセス・アセスメント研修 (ベーシック) ～
(9月28日～9月29日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150928-29.html>

- ・非機能要求の明確化に基づく、災害にも安心な IT サービス継続のためのシステム基盤の構築
～「非機能要求グレード」・「高回復力システム基盤導入ガイド」の解説～
(9月30日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20150930.html>

IV. IT 人材育成

1. 「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2015」を共催

(担当理事(本部長): 田中、担当センター長: 片岡)

IPA は、セキュリティ・キャンプ実施協議会及びセキュリティ・キャンプ九州実施協議会と共同で、「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2015」を8月28日(金)から30日(日)まで九州大学西新プラザ(福岡県福岡市)で開催しました。

九州では3回目の開催となり、一般講座(87名)と合宿講座(19名)の2講座を実施しました。

1日目の一般講座では、倫理面からサイバー攻撃の傾向と対策、及び人材育成等について講義形式で行われ、一般参加者よりわかりやすい講義内容で大変良かったとの意見をいただいています。3日間の合宿講座では、実践力を身に付けることを目的に、実際に脆弱性調査やマルウェア解析などを行う演習形式の講義を行いました。

参加者からのアンケートでは、回答者の90%近くが「大変満足した」または「満足した」との感想をいただいています。

「セキュリティ・キャンプ九州 in 福岡 2015」の詳細については、次の URL をご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2015/minicamp2015_kyushu.html

問合せ先 独立行政法人 情報処理推進機構 戦略企画部 企画・調査G 笛木・中山 〒113-6591 東京都文京区本駒込二丁目28番8号 文京グリーンコートセンターオフィス TEL : 03-5978-7503 E-mail : spd-plan@ipa.go.jp
--